マイナンバーカード楽々申請キャンペーン

税務住民課

マイナンバーカード楽々申請キャンペーン

マイナンバーカードを、企業や地域団体等でまとめて申請できます！

役場職員が企業や地域へ『出張申請受付』！！　顔写真も撮影します！！

● マイナンバーカードとは・・・

マイナンバーカードは、公的な身分証明書として利用できる顔写真付のＩＣカードで、１枚でマイナンバーの提示と本人確認ができるセキュリティに優れたカードです。このカードに搭載されている電子証明を使って、パソコンからの確定申告等（e-Tax）などが利用できます。



● 出張申請受付とは・・・

町職員が企業や学校、地域団体等の会場に出向き、マイナンバーカードの申請受付を行います。原則５人以上の申請者を対象に、**申請書の受付**及び**本人確認**を行い、さらに**顔写真の撮影**も行います。

申請後、できあがったマイナンバーカードは「郵送」にてお渡しします。

※マイナンバーカードは、即日交付されません。受付から**３～５週間後**の交付になります。

『出張申請受付』をご利用を希望の方は、役場にお問い合わせ願います。

※なお、３月～４月の住民票異動繁忙期にはご利用できない期間がございます。

注意事項

※１　15歳未満の方、成年被後見人の方には原則交付されません。

※２　代理申請はできません。（身体障害者手帳などお持ちの方は要ご相談）

■申請先・問合せ
役場税務住民課　☎82－0111

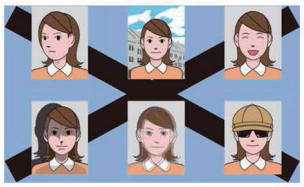
● マイナンバーカード申請時の、必要な書類

❶ マイナンバーカード交付申請書
（当町窓口でも備付けしています）
❷ 通知カード
❸ 本人確認書類（運転免許証や身障手帳、パスポート、住民基本台帳カード（写真付き）など
※写真付きの公的身分証明書をお持ちでない場合
①「保険証」＋　②「通帳」や「診察券」「年金手帳」など計２点
❹ 印鑑（認印可）
❺ 顔写真
（６カ月以内に撮影されたもの）

● 顔写真のチェックポイント

- サイズ（縦4.5センチ×横3.5センチ）
- 最近６カ月以内に撮影
- 正面、無帽、無背景のもの
- 郵送申請時は裏面に氏名、生年月日を記入してください
- 当町では、無料写真撮影サービスを行っています





≪不適切な写真≫　▼顔が横向きなもの　▼無背景でないもの　▼正常時の顔貌と著しく異なるもの　▼背景に影のあるもの　▼ピンボケなど不鮮明なもの　▼帽子サングラスなどで人物を特定できないもの

人権擁護委員に 阿知波一道さん、岩坂龍子さん
～法務大臣より委嘱されました～

任期満了に伴い阿知波一道さんと岩坂龍子さんが、平成30年１月１日付けで法務大臣から人権擁護委員として再委嘱されました。

人権擁護委員は児童生徒のいじめ、体罰、家庭内・相隣問題などの心配ごとの相談に応じます。相談無料、個人の秘密は守られます。

今金町人権擁護委員

大谷　長晧さん	阿知波　一道さん	岩坂　龍子さん	伊藤　惠津子さん
☎82-0907	☎82-0174	☎82-0767	☎82-1746



▲阿知波さん



▲岩坂さん

平成30年３月末に終了いたします。
に申請をお願いします。

沿道建物等からの落氷雪による事故の防止について

毎年、冬になると、沿道建物等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが道路などの通行を円滑にし、事故を無くすため、特に、次のことに注意するようにお願いいたします。

①屋根の雪、氷、つららが道路に落ちるような建物には、落雪等によって事故が起きないよう丈夫な雪止め等をつけるようにしてください。
②雪止めを付けてあっても、強さが足りなかったり、針金等が古くなってさびついていますと、壊れて落ちることもあります。雪が多くなる前に必ず点検し、悪いところがあれば早く修繕するようにしてください。
③屋根の雪、氷、つららは気温の上昇や降雨のあったとき特に落ちやすくなっていますので、早めに取り除くようにしてください。
なお、雪下ろし等をする場合には、歩行者等に危険のないよう十分に注意してください。
④屋根から大量の雪が落ちたときは、すぐに事故がないかどうか点検するとともに、歩行者の通行の支障にならないよう処理してください。
⑤敷地内の雪を道路に出しますと、歩行者等が迷惑しますので、出さないようにしてください。

北海道開発局・北海道・北海道警察

木元さんの田舎暮らし「出会いと発見」日誌

地域おこし協力隊『いまかね紀行』

こんにちは、地域おこし協力隊の木元です。

今回は、今金町と札幌国際大学の地域連携事業「今金プロジェクト２０１７」についてご報告します。

札幌国際大学との地域連携は５年目を迎え、今年度は美利河地区をフィールドに「健康」「歴史」「交流」の３つのチームに分かれ、地域課題について多世代の方との交流を通して解決方策を提案するプロジェクトを進めてきました。大学生は、７月、９月、11月の計３回町を訪れ、美利河地区のフィールドワークなどを行いました。７月の様子については、広報８月号に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

■今金プロジェクト２０１７の経過

９月には、７月に美利河地区で行ったフィールドワークを振り返り、そこで感じた地域課題の解決方策を考えるグループワークを実施しました。７月に引き続き、今金中学校の生徒６名と、町内各団体の皆さんにもご参加いただきました。中学生もプロジェクト２回目ということもあり、大学生や町民の皆さんと積極的に話し合う姿がとても印象的でした。今回のプロジェクトは、特に、中学生の地元への思いを大切にしながら、より魅力的な美利河地区にする方法を考え、大学生と一緒に形にしていきました。

そして11月には、その集大成として今金町総合文化祭の会場において「活動成果報告会」を開催しました。美利河地区を活用したイベントや既存施設の活用方法など、チームごとに様々なプランが提案されました。当日の会場には、今金プロジェクトに参加してくださった方や、文化祭を見に来られた方も、足を止めて、提案を聞いてくれました。この提案内容については、札幌国際大学の学生がまとめた報告書を役場ホームページに掲載していますので、そちらをぜひご覧ください。

■地域・人づくりフォーラム　活動成果報告会

今回の「今金プロジェクト２０１７」の提案を、もう一度大学生と中学生が皆さんの前で発表することが決まりました！３月に開催される「地域・人づくりフォーラム」の中で報告させていただくことになりましたので、ぜひこの機会に地元中学生の思いを聞いていただきたいと思います。皆さんのお越しをお待ちしています。

地域・人づくりフォーラム
と　き　平成30年３月13日
　　午後６時～
（教育・文化・スポーツ表彰式終了後）
ところ　町民センター一階大ホール

地域おこし協力隊　木元　希


▲９月グループワーク



▲11月活動成果報告会

「高齢者交通料金助成事業」（65歳以上）は
バスカード購入予定の方は期限まで